

ソーラーカー世界最速 ギネス認定

困難越えチーム一丸

【宮古島】自動車のダカール・ラリーで1997年に日本人として初めて総合優勝した篠塚建次郎さん(65)のチームが20、22の両日、宮古島市の下地島空港を舞台にソーラーカー世界最速記録に挑戦した。20日は時速91・332キロ、22日は時速88・891キロ、ともにこれまでの世界最速記録を塗り替えた。ギネスの審査員が同席した22日の記録が即日、ギネス記録に認定された。20日の記録もギネス申請中だ。天候やタイヤのパンクなど、次々と立ちほだかる課題にチーム一丸となって挑み、偉業を成し遂げる様子を写真で紹介する。

シャンパンを手し、ギネス獲得の喜びを爆発させる篠塚建次郎さんら
22日、宮古島市の下地島空港



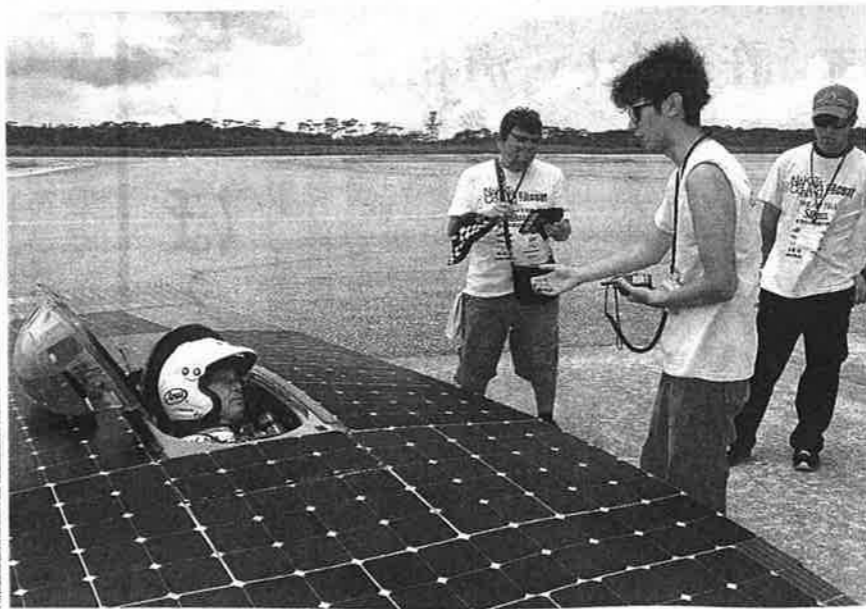
逃げ水がゆらゆら揺れる炎天下、太陽のエネルギーを受け猛スピードで駆けるソーラーカー



宮古・下地島



走行中にパンクしたタイヤを高速で修理するスタッフ



太陽を雲が覆い、空港の使用期限が迫る中、挑戦を続けるかスタッフと話し合う篠塚建次郎さん(左)

1週間で、ソーシャル・な企画を立ち上げ、見てのまゝ小荷地区を中心にくネットを沿岸した発信「陸定めた」と見る
インターネットを走し「約一坪で這耳木地」

8/28(木)
琉球新報
24(市町村)